

No.1

関東大震災で活躍した船たち

はじめての
わたしはこの
新聞をかくに
あたり何が参
考になる事は
ないかと「横
浜みなと博物
館」という船
などに関する
事が学べる所
へ行って来た。
案内役の方に
船の歴史や活
躍を教えて頂
き、特にわた
しは関東大震
災で活躍した船た
ちの魅力を感じ、
調べる事にした。

(東京新聞 2024.8/31 971)

東京府	750387人
神奈川	352838
千葉	1346
埼玉	444
群馬	343
山梨	22
茨城	5
合計	75385人

一九二三年(大正十
二)年九月一日早
前十一時五十八分
マグニチュード七、
九の大地震が発生
した。この地震に
より、現在の東京
都、神奈川県、埼
玉県、千葉県、山
梨県で震度六を観
測し広い範囲で揺
れを計測している。

関東大震災 発生!!

関東大震災 と船



大田区立
入新井第五小学校
5年
青木 史織



これや丸の
活躍!!
この水や丸って何?
この水や丸とは、関
東大震災で重要な
役割を果たした貨
客船の名前である。
何をした船なの?
一番最初に震災を
知らせた船である。
当時地震発生時、
陸の電信電
話設備が不
通となって
しまし、報
告手段は無線が使
用され、これや丸
は無線で第一報を
伝えた。

活躍した船たち

震災発生時、横浜
港では、停泊、出
入港中、通船をあ
わせて五十、百隻
程の船がいたとさ
れる。横浜港も大
きな揺れに襲われ、
多くの橋、倉庫な
どが被害に合った。
そんな中救助活動
にはげんだ貨客船
たちがいいた。
救助活動の一員に
これや丸の功績は
第一報を伝えた事
だけでなく、救助
活動も行っていた。
たとえば海に落下
した避難してきた人
を船内で収容した。



(1) エンプレス・オ
ブ・オーストラリ
ア
九月一日午後八時
までに約三
千名を収容。
八日神戸に
向け、被災
者千名を無賃輸送
した。
(2) アンドレ・ルポ
ン
九月一日夕
方までに約
二千名を収
容。十一日
神戸に向け、被災
者約千名を無賃輸
送した。
Q 貨客船って何?
A 旅客と荷物を同
時に運ぶ船。



(3) ぱりい丸
千八百余名の被災
者を船内に
救助し港外
に避難。船
倉内の米八
百余トンを供出。
陸上被害者に炊き
出しを行う。横浜
停泊中は神奈川県
及び大阪府の救護
本部にあてられた。
(4) 三島丸
約三千名の避難者
を救助。七
月までの収
容延べ人数
は四千名に
達し、被災者には
炊き出しも行った。
港務部・税関海事
部等の事務所が置
かれ、海上行政の
中核となった。

4コママンガ
さういえば!!

物資供給の活動



引用先
・東京新聞(資料)
・関東大震災100年船と港から見た
関東大震災
・船舶技術協会「船の科学」Vol.49 No.8
より

物資供給に協力するべく、海軍も陸揚げ作業をするなどして物資供給に加わった。陸揚げは九月二十七日に終了した。

実は!!!物資供給に協力するべく、海軍も陸揚げ作業をするなどして物資供給に加わった。陸揚げは九月二十七日に終了した。



大阪・神戸間の物資を積み込む特務艦室戸

地震発生後、関西方面では救助の準備が進められた。他にも地震に備えるべく、大阪方面の船たちにも輸送の協力をお願いする。一方、ふ頭や桟橋は地震で大きな被害を受け、貨物を運ぶ船や労働者も著しく不足していた。

救援物資は船で運ばれた!!

横浜港に陸揚げされた救援物資

陸揚日	艦船名	陸揚品名
九月三日	阿蘇丸	救恤品、白米六十俵、沢庵十樽、陶器
四日	しんがね丸	大阪方面の食料、救護材料
五日	瑞穂丸	糧食 二百五十包
六日	対馬丸	鮮魚六百五十トン
七日	山城丸	救恤品、白米二百五十トン、麦粉二百トン、味噌九十樽

※ 沢庵 (たくあん)、救恤品 (きゅうじゆ)
(救恤品に「名」(スル)「恤」(めく)「意」(い) 因っている人に見舞いの金品などをつけて救うこと。)

Q 船って何?
A 河川・港湾などで大型船と陸との間を往復して貨物や乗客を運ぶ小舟。

水、神戸間の避難民の輸送に従事した。



九月七日横浜入港。以降、姉妹船長丸と上海航路を休止し、東京、横浜、清水、神戸間の避難民の輸送に従事した。



九月七日北米から横浜着。避難民計二千八百名を清水・神戸へ輸送。二十日には再度二千二百七十名輸送した。震災後初めて大さん橋に係留した船。

感想
わたしは、この新聞をかくにあたり、以前は分かんなかった震災のおそろしさや、協力することの大切さを感じた。そこで震災はいつ起きてもおかしくない。と考える。この新聞作りをきっかけに得た知識を防災につなげるために家の防災セットの見直しや、準備をしたり、防災マップを作るなどをしてもらって、この新聞で得た物をむだにしないように防災に力をいれていきたいと思った。